

社会貢献型事業に積極投融資

経済的に利益を出しながら社会に貢献するソーシャルビジネスを支援しようと発足した日本の投資会社が、5年余りで出資者数を順調に増やし、活動を広げている。投資先はカンボジアとインド。投融資額は1億円を超え、新たな途上国支援の形として注目されている。

投資回収率110%

この投資会社はアルン合同会社。2009年12月に、代表の機能聡子さん一写真一が設立した。機能さんは民間企業やアジア学院を経て1995年から10年にわたりカンボジアに在住。国際協力機構（JICA）や保健関係の非政府組織（NGO）などで活動し、復興・開発支援に取り組んだ後、英ロンドン政治経済大学院で社会政策学を修めた。

機能さんはカンボジア在住の頃から、社会開発に貢献するビジネスを選んで投資する米アキュメン・ファンド（01年設立）などに注目していた。「もてはやされた開発事業でも、援助が終了すると立ち消えたケースをいくつも目の当たりにした。人々が自立し、継続できる事業を育てなくてはならない。そのため仕組みとして、アキュメンのような社会投資は有効だと思った」

カンボジアと印で5年1億円超



英国留学後、機能さんは仲間探しを始めたが、日本では社会投資は未知の分野だった。「興味はあるけど難しい」という意見がほとんど。さらに金融の世界はさまざまな規制があり苦闘が続いた。

ちょうどそのころ、旧知のカンボジアの農業系NGO「セダック」が資金不足で苦境に陥った。セダックは、農民が農産物の生産から販売までを手がける同国最大のNGOだ。より持続可能な組織となるために、農民による流通・販売企業を立ち上げようと計画したが、あてにしていた投資がキャンセルされてしまったという。その様子を見て、機能さんはソーシャルビジネスの支援は「身近にニーズがある」と確信し、行動を起こした。

粘り強く探してみると、なじみ深い援助の世界以外にも、金融、ビジネス、コンサルなどの世界で自分たちのスキルを途上

国支援に生かしたいと考えている人たちが見つかった。そこで09年に任意組合として発足、同年末には合同会社としてスタートを切った。

当初、10人だった投資家は5年後には110人に増えた。投資先はカンボジア5社、インド1社で、投融資額の合計は133万5000ドル（約1億4800万円）。回収率は110%になった。

農民所得が5倍以上

投資先の第1号は、セダックが母体となったサハクレア・セダックだった。84万5000ドルを投資し、回収率は107.5%。有機米や天然蜂蜜の生産者組合をつくり、国内外で販売している。組合に参加した農民の所得は5倍以上となった。

ヘアエクステンション（付け毛）を製造・販売するアルジュニ・インターナショナルには14万ドルを投資。回収率は120%を超えた。ここは、社会的弱者の女性を積極的に雇用している。ほかに、人材育成によるサービス向上に力を入れ、国際的にも高い評価を得ているプティックホテル、無電化地域でのソーラーパネルの導入・販売を手掛ける企業への融資など、社会貢献

アルンが投資したアルジュニはカンボジア女性の髪でヘアエクステンションを製造し、米国に輸出している（アルン提供）



度を重視した投資先を選んでいる。

「投資はリスクを共有するという対等な関係性を築く。日本の投資家は、そこに魅力を感じてくれたようだ」と機能さんは言う。投資家は、お金を出すだけでなく経営に口も出す。その結果が雇用創出や貧困削減、生活改善といった社会貢献につながる。

機能さんは、日本の投資家たちを現場へ連れていき、カンボジアの起業家に会ってもらい、頻繁な報告や助言のやりとりをすることを重視している。

インターネット詐欺にあった、在庫管理がうまくいかない、売り上げが落ちた。大小さまざまな苦難を共有しながら、投資家もまた、カンボジアの現実を変えようとする起業家との出会いから学び、刺激を受

けているという。

機能さんはアルンの経験をもとに、さらに新しい取り組みを始めている。「投資は制度面でハードルが高い」という中小企業などからの声を受け、NPO法人を設立。ソーシャルビジネスに1口30万円の寄付を募り、利益を再投資するという「クラウドソーシャルインベストメント」を開始した。アルンで培ったノウハウを活用し、寄付企業に、経営状況や社会貢献度の報告を綿密に行う。「途上国に市場を求め企業にとっては、革新的なビジネスモデルの創造に寄与するだけでなく、事前調査や情報収集にも活用できる」。機能さんはグローバルな視点で社会に貢献する事業への挑戦をこれからも続けていく。

（カンボジア月刊邦字誌「ブノン」編集長 木村文）

JIMA
2016

第8回

総合検査機器展

Japan Inspection Instruments Manufacturers' Show

2016.9.28[水]—30[金] 10:00—17:00

東京ビッグサイト

同時開催展

センサエキスポジャパン2016
INTERMEASURE2016 [第27回計量計測展]
地盤改良技術展2016
ITSテクノロジー展

主催:

JIMA (一社)日本検査機器工業会
<http://www.jima-show.jp>

特別協力:

フジサンケイ ビジネスアイ
<http://www.sankeibiz.jp>

出展対象 …非破壊検査と計測に関わる全ての機器・装置など

検査手法

エックス線、ガンマ線、ベータ線、超音波、渦流、磁気、磁粉、浸透、歪、漏えい、アコースティックエミッション、ビジュアル(光学)、レーザー、サーモグラフィ、マイクロ波など

用途

寸法測定(長さ・厚さ・幅)、材質評価(判別・導電率・異材・硬度・焼入れ深さ・溶接不良・接着不良・弾性率測定)、探傷(割れ・ラミネーション・コロージョン・ポイド・巣・異物検出・インクルージョン検出)、残留応力、食品検査、電子部品検査、コンクリート検査など

〈展示会事務局〉



フジサンケイ ビジネスアイ 営業・事業本部

「総合検査機器展」事務局 TEL. 03-3273-6180 FAX. 03-3241-4999
URL <http://www.sankeibiz.jp> E-mail. info@jima-show.jp

出展
募集中!

安全と品質を支える検査と計測
…非破壊検査

www.jima-show.jp